



平成 17 年 11 月 18 日

各 位

会社名 株式会社 オプト  
代表者名 代表取締役社長 鉢嶺 登  
(コード 2389)  
担当者名 取締役 C F O 小林 正樹  
電話番号 03 - 5561 - 6434

### 子会社の異動（取得）に関するお知らせ

当社は、ブログ関連事業及び携帯端末サービス事業拡大のため、平成 17 年 11 月 18 日開催の取締役会において、株式会社ホットリンクの株式を取得し、子会社とすることに関し、下記のとおり決議いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

##### 1. 異動の理由

株式会社ホットリンク (<http://www.hottolink.co.jp/>) は、ブログ構築システムや文章解析システムといったブログソリューション技術と、BREW アプリケーションを中心としたモバイル関連技術に強みを持つ会社です。豊富なシステム開発・サービス開発の実績のみならず、ブログやモバイルアプリケーションを活用した多様なプロモーション企画実績も有しています。

一方、当社は、インターネット広告代理業において随一の取扱高を誇るなど、インターネット上のマーケティング活動を支援する「e マーケティングカンパニー」として高い専門性とノウハウ、および豊富な顧客基盤を有しています。

現在、ブログは日本において閲覧者数が 1,600 万人を突破（平成 17 年 3 月現在、総務省調べ）するなど日増しに存在感が高まっており、企業のマーケティング活動にブログが活用される事例も目だっておりまいた。

本件により、当社の顧客基盤に対して、株式会社ホットリンクが持つ製品およびソリューションを提供することでサービスの拡充を図り、当社グループの総合 e マーケティング提案力を強化していく考えです。

##### 2. 子会社となる会社の概要

- (1) 商 号 株式会社ホットリンク
- (2) 代 表 者 代表取締役 内山 幸樹
- (3) 所 在 地 東京都品川区西五反田 2-11-17 HI 五反田ビル 6F
- (4) 設立年月日 平成 12 年 6 月 26 日
- (5) 事業の内容
  - 1. ブログ関連事業
  - 2. BREW 端末を中心とした携帯端末サービス関連事業
  - 3. リコメンデーションエンジンなどのエージェント技術を中心とした情報選別ソリューション・サービスの提供及び立上支援事業

- (6) 決算期 12月末日(平成17年10月に決算期を7月から12月に変更)  
 (7) 資本金 148,756,000円  
 (8) 大株主構成

株主名(上位5位)	持株比率
H&Q/GAI INCUBATION FUND 投資事業有限責任組合	27.1%
アイ・ティー・エックス株式会社	15.8%
内山 幸樹	15.1%
日興ニューウェイブ2001投資事業有限責任組合	15.0%
あおぞらインベストメント一号投資事業有限責任組合	9.0%

- (9) 最近事業年度における業績の動向

(単位:百万円)

	平成16年7月期末	平成17年7月期末
売上高	228	341
経常利益	8	45
当期利益	8	2
総資産	192	256
株主資本	71	73

平成17年10月28日付株主総会をもって決算期を7月から12月に変更しております。

3. 異動の内容および年月日

- (1) 内容 既存株主より譲受 普通株式 2,108株(1株あたりの価額125,000円)  
 第三者割当引受 普通株式 1,240株(1株あたりの価額125,000円)  
 (2) 異動年月日 平成17年11月25日(予定)

4. 取得金額

418,500,000円

5. 出資金額及び出資前後の出資比率の状況

- |   | (異動前)  | (異動後)   |
|---|--------|---------|
| (1) 当社所有議決権数  | 0個     | 3,348個  |
| ( 当社所有株式数   | 0株     | 3,348株) |
| (2) 議決権の総数  | 3,789個 | 5,529個  |
| ( 発行済株式数  | 3,789株 | 5,529株) |
| (平成17年11月21日付で既存株主による第一回無担保転換社債500株分の権利行使が予定されております。) |        |         |
| (3) 議決権の総数に対する割合                                      | 0%     | 60.55%  |
| ( 発行済株式数に対する割合  | 0%     | 60.55%) |

6. 子会社化に伴う当社への影響

当連結会計年度につきましては軽微であります。来期以降につきましては、連結売上高にはプラスの影響を与える見込ですが、連結当期純利益には、連結調整勘定との相殺により与える影響は軽微となる見込です。

以上